



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タダノ

コード番号 6395 URL <http://www.tadano.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田野 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理部長 (氏名) 北村 明彦

TEL 087-839-5600

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	74,970	25.9	3,347	—	2,792	—	1,268	—
23年3月期第3四半期	59,563	△17.2	△3,036	—	△3,356	—	△3,927	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 772百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △5,246百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	9.99	—
23年3月期第3四半期	△30.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	158,391	76,210	47.6
23年3月期	146,165	75,594	51.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 75,410百万円 23年3月期 75,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	22.5	4,200	—	3,600	—	1,500	—	11.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	129,500,355 株	23年3月期	129,500,355 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,533,933 株	23年3月期	2,496,283 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	126,993,195 株	23年3月期3Q	127,089,849 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、景気は緩やかに持ち直しております。また、米国や新興国経済は一定の底堅さを維持しておりますが、欧州債務問題を背景に、欧州経済は減速傾向が強まり、世界経済は不確実性を増しております。

私どもの業界は、国内生産が震災影響による部品調達難により一旦落ち込みましたものの、その後増産に転じました。国内では、老朽化に伴う買い替えニーズが漸く顕在化し始め、需要は増加しました。海外では、欧州需要は底ばいながらも、エネルギーや資源関連を中心に北米・中南米・中東等各地域で需要は大幅に増加しました。

なお、昨年10月のタイ洪水による当社サプライチェーンへの影響は軽微で、調達や生産に支障は生じておりません。

国内売上高は、建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車の売上が揃って増加し、378億2千1百万円（前年同期比113.0%）となり、海外売上高は、需要の回復に伴い、円高下の競争激化にかかわらず増加し、371億4千8百万円（前年同期比142.4%）となりました。この結果、総売上高は、749億7千万円（前年同期比125.9%）となりました。なお、海外売上高比率は、49.6%となりました。

経常損益につきましては、円高に伴い為替差損4億3千万円が発生したものの、売上増加にともなう粗利増加や原価の低減に加えて、諸経費削減を継続しました結果、27億9千2百万円の利益（前年同期33億5千6百万円の損失）となりました。当期純損益につきましては、法人税率引下げに伴い繰延税金資産を取り崩した結果、12億6千8百万円の利益（前年同期39億2千7百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

① 日本

日本では、建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車の売上が揃って増加し、売上高は659億1千9百万円（前年同期比132.8%）となり、営業損益は24億4千8百万円の利益（前年同期26億1百万円の損失）となりました。

② 欧州

欧州では、建設用クレーンの売上が前年の極端な落ち込みからやや持ち直し、売上高は155億7千8百万円（前年同期比115.5%）となり、営業損益は3千6百万円の損失（前年同期4億8千4百万円の損失）となりました。

③ 米州

米州では、建設用クレーンの大幅な売上増加により、売上高は108億3千5百万円（前年同期比194.7%）となり、営業損益は3億2千9百万円の利益（前年同期3億1千6百万円の損失）となりました。

④ その他

その他地域では、建設用クレーンの大幅な売上増加により、売上高は64億2百万円（前年同期比198.8%）となり、営業損益は6億3千1百万円の利益（前年同期2億円の利益）となりました。

主要品目別の状況は次のとおりです。

①建設用クレーン

国内につきましては、シェア確保よりも販売価格の適正化に優先的に取り組みました。需要増加の中、国内売上高は124億5千5百万円（前年同期比111.5%）となりました。

海外につきましては、歴史的な円高や欧州の需要低迷にかかわらず、北米・中南米・中東等各地域の需要回復を背景に大幅に増加し、海外売上高は290億4千9百万円（前年同期比156.7%）となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は、415億4百万円（前年同期比139.7%）となりました。

②車両搭載型クレーン

国内売上につきましては、震災関連需要の増加もあって、トラック需要が堅調に推移し、70億6千8百万円（前年同期比136.5%）となりました。

海外売上につきましては、9億4千8百万円（前年同期比145.0%）となりました。

この結果、車両搭載型クレーンの売上高は、80億1千7百万円（前年同期比137.4%）となりました。

③高所作業車

需要回復が顕著なレンタル業界向け販売に注力した結果、震災関連需要も加わり、高所作業車の売上高は、76億7千1百万円（前年同期比118.4%）となりました。

④その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、177億7千6百万円（前年同期比101.3%）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産の状況）

総資産は、前連結会計年度末に比べ122億2千6百万円増加の1,583億9千1百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少43億2千7百万円がありましたが、現金及び預金の増加86億6千2百万円やたな卸資産の増加102億1千3百万円があったことによるものです。

（負債の状況）

負債は、前連結会計年度末に比べ116億9百万円増加の821億8千万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少20億5千9百万円がありましたが、支払手形及び買掛金の増加140億9千5百万円があったことによるものです。

（純資産の状況）

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億1千6百万円増加の762億1千万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の減少6億3千9百万円がありましたが、利益剰余金の増加8億8千7百万円があったことによるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月27日付けで業績予想を変更しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,378	39,040
受取手形及び売掛金	30,498	26,171
商品及び製品	14,221	21,570
仕掛品	10,526	12,440
原材料及び貯蔵品	6,023	6,974
繰延税金資産	1,912	1,376
短期貸付金	1,487	1,291
その他	2,266	2,217
貸倒引当金	△665	△534
流動資産合計	96,648	110,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,210	9,521
機械装置及び運搬具（純額）	3,311	2,771
土地	19,754	19,722
リース資産（純額）	307	410
建設仮勘定	13	337
その他（純額）	966	930
有形固定資産合計	34,565	33,694
無形固定資産	827	820
投資その他の資産		
投資有価証券	5,612	5,277
繰延税金資産	5,998	5,586
その他	3,110	2,946
貸倒引当金	△597	△481
投資その他の資産合計	14,124	13,327
固定資産合計	49,516	47,842
資産合計	146,165	158,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,425	28,520
短期借入金	7,930	8,561
リース債務	165	196
未払法人税等	318	436
引当金	878	841
未払金	2,747	2,401
割賦利益繰延	631	427
その他	2,978	2,643
流動負債合計	30,076	44,028
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	11,789	9,730
リース債務	304	447
繰延税金負債	219	166
再評価に係る繰延税金負債	2,804	2,455
退職給付引当金	4,880	4,832
負ののれん	1	—
その他	496	520
固定負債合計	40,495	38,152
負債合計	70,571	82,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,021	13,021
資本剰余金	16,848	16,847
利益剰余金	52,692	53,580
自己株式	△2,205	△2,223
株主資本合計	80,357	81,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	558	384
土地再評価差額金	△56	292
為替換算調整勘定	△5,853	△6,492
その他の包括利益累計額合計	△5,351	△5,816
少数株主持分	587	800
純資産合計	75,594	76,210
負債純資産合計	146,165	158,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	59,563	74,970
売上原価	48,336	57,552
割賦販売利益繰延前売上総利益	11,227	17,417
割賦販売未実現利益戻入額	334	253
割賦販売未実現利益繰入額	10	49
売上総利益	11,552	17,621
販売費及び一般管理費	14,589	14,274
営業利益又は営業損失(△)	△3,036	3,347
営業外収益		
受取利息	60	61
割賦販売受取利息	154	114
受取配当金	113	127
負ののれん償却額	8	1
その他	353	163
営業外収益合計	689	468
営業外費用		
支払利息	506	470
為替差損	453	430
その他	48	121
営業外費用合計	1,008	1,022
経常利益又は経常損失(△)	△3,356	2,792
特別利益		
固定資産売却益	4	92
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	142	—
債務保証損失引当金戻入額	0	—
退職給付制度改定益	—	51
特別利益合計	147	144
特別損失		
固定資産除売却損	21	9
減損損失	13	—
投資有価証券評価損	2,063	—
貸倒引当金繰入額	0	—
会員権評価損	4	—
損害賠償金	46	—
特別損失合計	2,149	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,358	2,927
法人税、住民税及び事業税	352	578
法人税等調整額	△1,792	1,034
法人税等合計	△1,440	1,612
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,918	1,314
少数株主利益	8	45
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,927	1,268

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,918	1,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	747	△174
土地再評価差額金	—	348
為替換算調整勘定	△2,075	△716
その他の包括利益合計	△1,328	△541
四半期包括利益	△5,246	772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,208	803
少数株主に係る四半期包括利益	△38	△31

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	欧州	米州	計				
売上高								
外部顧客への売上高	40,979	9,994	5,386	56,360	3,203	59,563	—	59,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,660	3,492	178	12,330	17	12,348	△12,348	—
計	49,639	13,486	5,564	68,691	3,221	71,912	△12,348	59,563
セグメント利益又は損失(△)	△2,601	△484	△316	△3,401	200	△3,201	164	△3,036

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額163百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	欧州	米州	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,180	8,876	10,606	68,663	6,306	74,970	—	74,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,738	6,701	229	23,669	96	23,765	△23,765	—
計	65,919	15,578	10,835	92,333	6,402	98,735	△23,765	74,970
セグメント利益又は損失(△)	2,448	△36	329	2,741	631	3,373	△25	3,347

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額△26百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。